

プレスリリース

2021年6月17日
株式会社レアジョブ

AI ビジネス英語スピーキングテスト「PROGOS」1周年

年間受験者数のべ7万人を突破

日本で最も^(*)年間に受験された英会話試験に

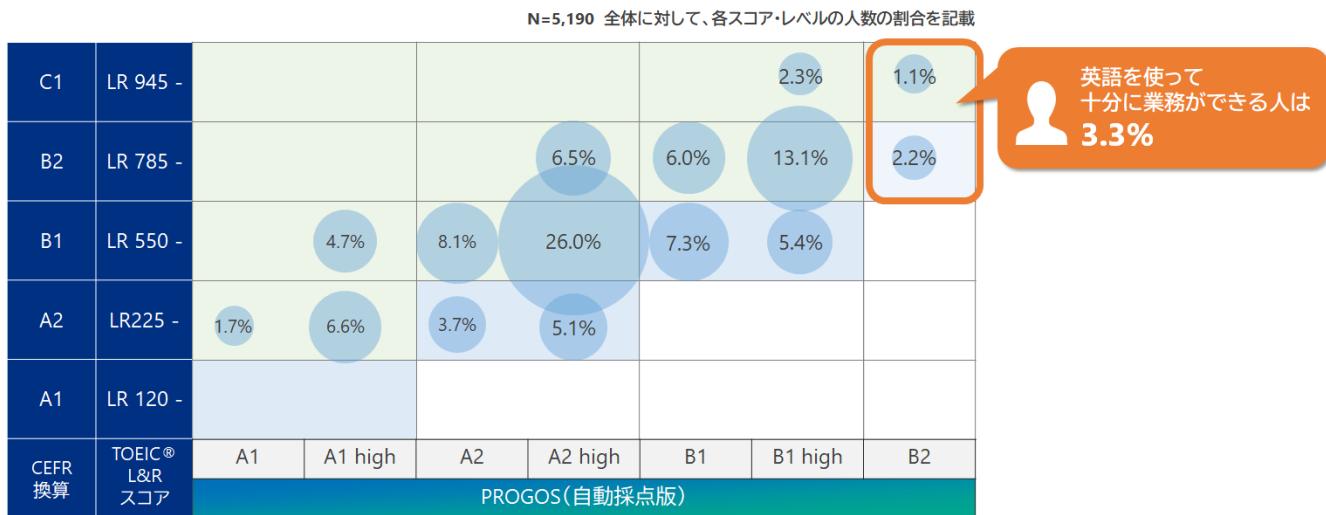
TOEIC® L&R スコアとスピーキング力の高さに大きく乖離があることが判明

人にまつわるデータを活用し、グローバルに活躍する人々を生み出す株式会社レアジョブ（以下、レアジョブ）が提供するAIを活用したビジネス英語スピーキングテスト「PROGOS」のべ受験者数が、サービス提供開始から1年にあたる2021年6月にのべ7万人を突破しました。また、「PROGOS」受験者のスピーキング力レベルと、TOEIC® Listening & Reading（以下、TOEIC® L&R）のスコアの比較分析を実施し、ビジネスで必要とされる「リスニング力」「リーディング力」と「スピーキング力」のレベルには大きく乖離があることが分かりました。

■「PROGOS」テスト結果とTOEIC® L&Rスコアの大規模比較分析について

企業のグローバル人材育成において、TOEIC® L&Rのスコアが昇格などの要件とされているものの、実態としては英語を話せず、グローバルビジネスで成果を出せないことが多い、という問題はよくきかれます。今回、この実態について、「PROGOS」受験者で受験時にTOEIC® L&Rのスコア提供にご協力いただいた5,190名を対象に比較分析を行いました。

分析では、あらゆる語学試験等で共通指標として使用とされているCEFRレベルを共通の尺度として、「リスニング力」「リーディング力」と「スピーキング力」を比較しました。



受験者のPROGOSテスト結果とTOEIC® L&RスコアのCEFR対比

その結果、TOEIC® L&R で「英語を使って十分業務ができるとされるレベル（CEFR 換算・B2 レベル）」があっても、「スピーキング力」においては業務ができないレベルの人が大半ということが分かりました。

「英語を使って十分業務ができるとされるレベル」は CEFR で B2 以上といわれており、このレベルはグローバルで活躍している企業がグローバル人材に求めるレベルとして多く設定されています。

分析によると、対象の受験者数 5,190 名に対して、TOEIC® の「リスニング力」と「リーディング力」において B2 以上 (TOEIC® L&R スコア 785 点以上) の人は全体の 31.3%、PROGOS のスピーキングレベルが B2 以上の人には 3.3%。さらに両方のレベルで B2 以上の人も同じく 3.3% でした。これらの結果から、「リスニング力」と「リーディング力」に対して「スピーキング力」が大きく乖離していることが明らかになりました。

グローバルビジネスにおいて「スピーキング力」は不可欠です。企業は従業員のグローバルビジネスにおける、実践的なスキルを把握するために、指標として英語スピーキングテストの結果も把握する必要があることが実証されたといえます。

<比較分析について>

- ・期間：2020 年 11 月～2021 年 6 月
- ・対象者：上記期間にて「PROGOS」（自動採点版）を受験し、TOEIC® L&R スコアの提供にご協力いただいた 5,190 名
- ・スコアの振り分けについて
 - TOEIC® L&R スコアは、下記を参考に A1～C1 に振り分け
https://www.iibc-global.org/toeic/official_data/toeic_cefr.html
- ・「PROGOS」の総合評価は A1～B2 まで明示。B2 には B2 ならびにそれ以上のレベルの方を含む

■市場投入後 1 年で、日本で最も年間に受験された英会話試験に

現状、グローバルビジネスを推進しうる人材の要件として、英語の「リスニング力」「リーディング力」を測定する TOEIC® L&R のスコアのみを指標に据える企業や大学が多い現状ではあります。しかしながら「PROGOS」提供開始以降、英語スピーキング力可視化のニーズが顕在化し始め、サービス提供開始から 1 年を迎える 2021 年 6 月には年間受験者数がのべ 7 万人を突破しました。

提供開始当初は「レアジョブ英会話」を利用する個人・法人会員のみが対象でしたが、半年前の同年 12 月より試験単体として法人のお客様にご利用いただけるようになり、受験者数が急拡大しております。

提供開始 1 年で、ほか試験と比較し日本で最も年間受験者数の多い英会話試験となりました。（*1）

市場投入から 1 年間での受験者数増加のスピードも、TOEIC® L&R に代表される、他の英語試験と比較しても、圧倒的なペースであり、これまで英語力指標として広がっていた TOEIC® L&R のスコアに加え、「PROGOS」で測定できる CEFR を導入し、実務に即したスキルを可視化するニーズが拡大しているといえます。

■英語スピーキング力測定をすすめる企業・大学の課題

英語スピーキング力の可視化を目的として、全従業員や学生を対象に、以下のような課題をふまえて「PROGOS」を導入する企業や大学が増えています。

①TOEIC® L&R のスコアだけでは、実務能力との相関性が測れない

- ・管理職昇格、海外赴任の要件として TOEIC® L&R のスコアをおいていたが、日本で成果を上げていたマネージャーの英語スピーキング力が足りず、グローバルでは成果に結びつかない例もあったので、CEFR を指標にした「PROGOS」で英語スピーキング力を測定することに決定 (A 社)
- ・TOEIC® L&R のスコアを軸にした英語研修が存在するものの、スコアと実務能力にギャップあり。レベルごとに実務で何ができるか明文化された CEFR 指標を全社へ導入し、各自の課題に沿った英語スピーキング力を高める研修も合わせて実施できるようにした (B 社)

②全従業員など幅広い対象に導入をしたいがスピーキングテストのコストが高い

- ・これまで行っていた社内会場受験の場合、実施運営の人的リソースや受験費用のコスト負担が大きかったが、「PROGOS」はオンライン完結なので、従業員各自で受験ができるようになり、コストが大幅に軽減。また、結果が数分で返却されるので、受験者のモチベーション維持にも寄与した (C 社)

- ・全社的なグローバルコミュニケーションのカルチャー形成を目的としているので、全従業員へ受験の機会を提供したいが、平均的に 5,000 円以上の費用がかかるスピーキングテストは導入ハードルが高かった。10 分の 1 のコストで受けられる「PROGOS」でスピーキング力測定が実現した (D 社)

■ 「PROGOS」について

「PROGOS」は、AI 活用により最短 2~3 分で、世界標準指標 CEFR で英語の“運用能力”を測定できるビジネス英語スピーキングテストです。これまでの英語スピーキングテストの多くは、人による採点・会場受験などの制約から、受験費用が平均 5,000 円以上とコストが高く、日本においては普及が限定的でした。この問題解決のために、「PROGOS」ではオンライン受験・自由回答の英文を AI で自動採点するシステムを開発したことで、採点官のキャパシティに関係なく、早く安価に受験できる機会を提供し、2020 年 12 月には世界最大級の教育コンテストで、これらが評価され、日本初の銀賞を受賞しました。(*2)



■プロゴス社 取締役社長 安藤 コメント



「PROGOS」のリリースから 1 年を経て、企業・大学や英語学習者には「英語を話す力を簡単に測りたい」「グローバルなモノサシで英語を話す力を比較したい」という潜在的ニーズが高かったと確信しています。特に「PROGOS」単体での受験が可能となった 2020 年 12 月以降、企業による社員のスキル把握のための活用が爆発的に進んでいます。DX をはじめとして大きく産業構造が転換しつつある現在、スキルの可視化と習得までのスピードアップは喫緊の課題となっています。「PROGOS」はその流れのなかで、従来の「テスト」の概念を超えて、“Measure & Develop”で人が成長することの加速化に貢献し続けます。

■日本における CEFR 研究の第一人者 投野 由紀夫教授 コメント



「PROGOS」 登場から 1 年。国際標準 CEFR に準拠、かつ日本の英語学習者に最適化した CEFR-J をベースにしたビジネスパーソン向けの英語スピーキング・テストとして、「PROGOS」 の存在感は際立っています。特に日本人にとって最も上達が難しい初級から中級のステップアップを、質的にきめ細かく診断・評価できる点で、他の類似のテストの追随を許しません。ぜひ、グローバル化に必要な英語力を「PROGOS」 で手に入れてください。

東京外国语大学
ワールドランゲージセンター センター長
大学院総合国際学研究院 教授

*1 当社調べ

*2 「Reimagine Education Award 2020」 の学習アセスメント (LEARNING ASSESSMENT) カテゴリーにおいて銀賞を受賞。本アワード全体において日本の団体の受賞は初

【株式会社プロゴスについて】

所在地：東京都渋谷区神宮前六丁目 18 番 1 号 クレインズパークビル 6 階

代表者：取締役社長 安藤 益代

URL : <https://www.progos.co.jp/>

事業内容：グローバルリーダーの評価・育成・採用等関連事業

【株式会社レアジョブについて】

所在地：東京都渋谷区神宮前 6-27-8 京セラ原宿ビル 2F

代表者：代表取締役社長 中村 岳

URL : <https://www.rarejob.co.jp/>

事業内容：英語関連事業

上場取引所：東京証券取引所市場第一部

レアジョブでは、グループビジョン“Chances for everyone, everywhere.”に基づき「グローバルに人々が活躍する基盤を作る」ことを目指しています。マンツーマンのオンライン英会話サービス「レアジョブ英会話」を中心に、"英語を話せるようになる"ためのサービスを展開。

また、グローバルリーダー育成事業や、グローバルに活躍する機会創出を目指すキャリア関連事業への展開を進めています。ビジョン実現に向け、今後も EdTech 企業のリーディングカンパニーとして、国内のみならず事業のグローバル展開を推進してまいります。

【イメージムービー：レアジョブが描く少しだけ未来の風景】

<https://youtu.be/6HWoKierAYs>



【サービス関連情報】

- ・累計無料登録ユーザー数：90万人以上※
- ・累計導入法人企業数：3,200社以上
- ・累計導入教育機関数：300校以上

※ユーザー数は、当社の英語サービスすべてのユーザー数を記載

【提供サービス】

オンライン英会話サービス

- ・オンライン英会話サービス「レアジョブ英会話」
- ・オンライン完結成果保証型英会話プログラム「スマートメソッド®コース」
- ・子ども専門オンライン英会話「リップルキッズパーク」

アセスメントサービス（英語力測定）

- ・ビジネス英語スピーキングテスト「PROGOS」

法人・文教向けサービス

- ・法人向けグローバルリーダー育成研修サービス（株式会社プロゴス）
- ・教育機関向け英語教育サービス（株式会社エンビジョン）

【本お知らせに関するお問い合わせ】

株式会社レアジョブ 広報 荒川、水口

メール：press@rarejob.co.jp TEL：03-5468-7401